03 MATERIALITY & SDGs

重要課題とSDGsへの貢献

当社は、SDGsへの貢献に向けて、優先的に取り組むべき重要課題（マテリアリティ）の特定を行いました。資源利用の効率化やディーセントワークの実現といった社会課題に対して、オンワード商事がどのような領域で、何に取り組むべきかを精査し、17の課題に絞り込みました。また、各課題とSDGsへの貢献との関連性も整理しました。

重要課題	課題に取り組む事業・領域	貢献するSDGs
1 サステナブル素材の使用促進	ユニフォーム	8 12 13 17
2 梱包形態における環境負荷低減	ユニフォーム／セールスプロモーション／催事	8 12 13 14
3 環境に配慮した社内設備・業務の推進	経営・管理	6 7 8 13 15
4 無駄のない受注生産・計画生産による資源の有効利用と廃棄削減	ユニフォーム	8 12
5 あらゆる労働者の豊かで働きがいのある労働と、企業・文化醸成への寄与	ユニフォーム	4 8 10
6 あらゆる着用者の安全で安心、衛生的で快適な労働環境の促進	ユニフォーム	3 8 12
7 女性や妊産婦の健康的で快適な労働環境の促進	ユニフォーム	3 5
8 環境・社会に配慮した販促企画等による消費者意識の向上	セールスプロモーション	3 7 8 10 12 13 14 15 16 17
9 ワークライフバランスの充実	経営・管理	3 5 8

重要課題	課題に取り組む事業・領域	貢献するSDGs
10 女性活躍推進	経営・管理	5 8 10 16
11 人権の尊重	経営・管理	5 8 10 16
12 コミュニティへの貢献	経営・管理	3
13 個人情報をはじめとした情報セキュリティの徹底	経営・管理	16
14 環境・社会に配慮したサプライチェーン	ユニフォーム／セールスプロモーション	3 5 6 7 8 10 11 12 13 16
15 コンプライアンス遵守の徹底	経営・管理	5 8 10 16 17
16 コーポレートガバナンスの充実	経営・管理	16
17 リスクと危機の管理	経営・管理	10 11 16

※ 催事事業のマテリアリティ「健康に配慮した商品による消費者の健康意識の向上」について見直しを行い、2022年度からはマイバッグキャンペーンやリサイクルの推進といった、新たなマテリアリティに取り組みます。